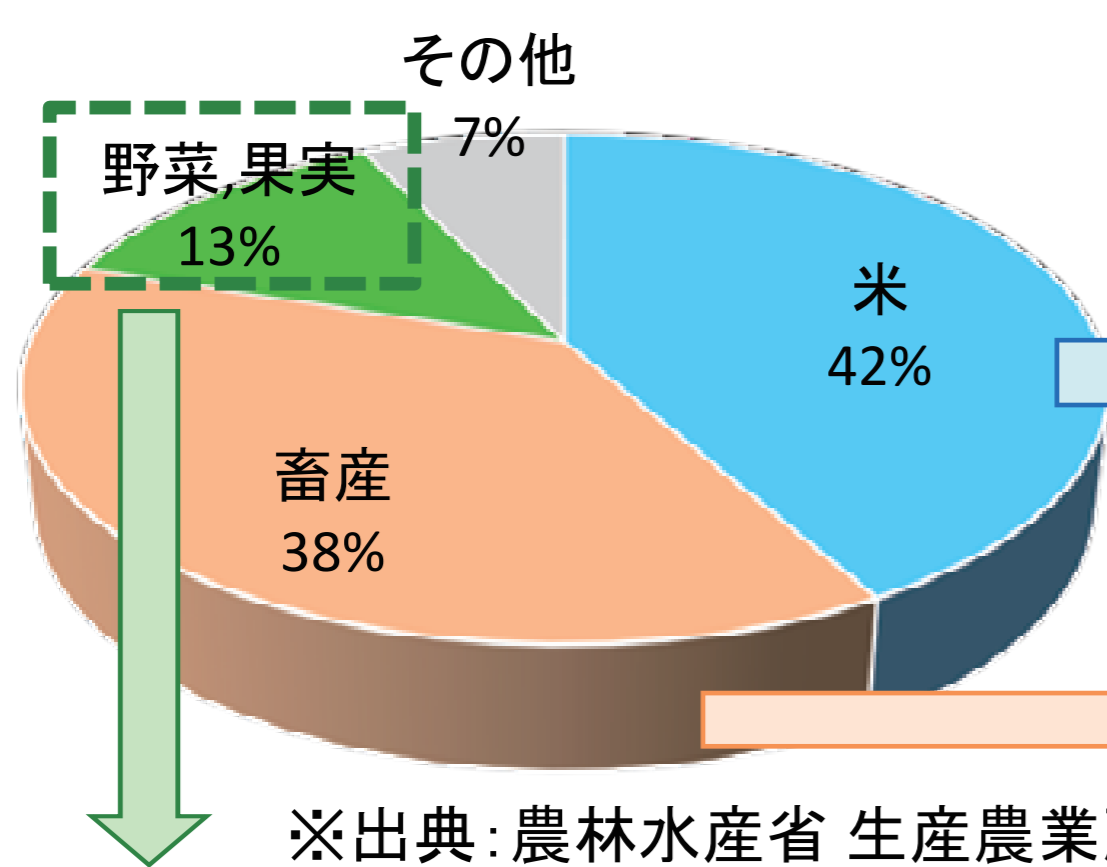


# 農業の多様化への貢献

## 名阪国道は伊賀地域の農業を支える基盤

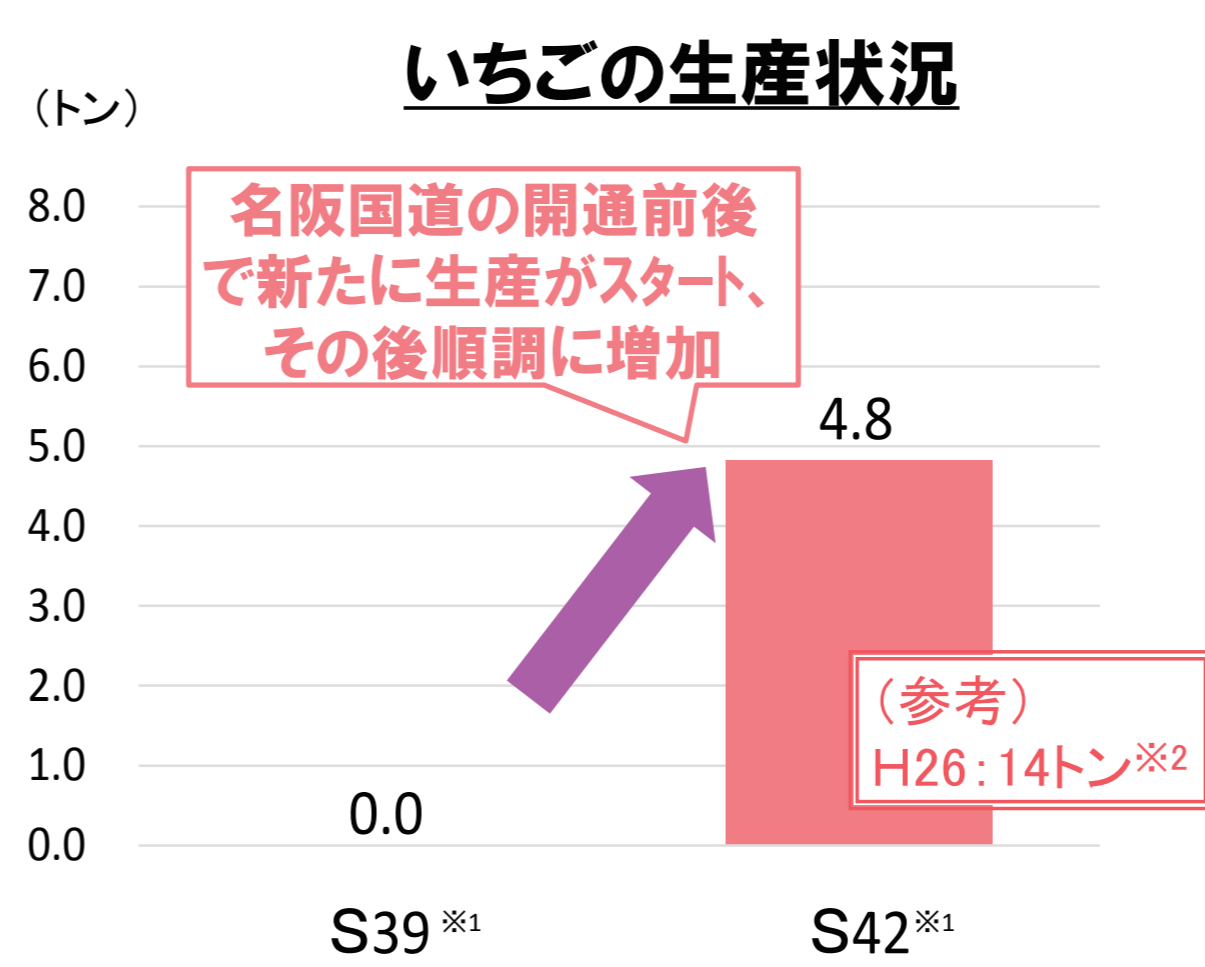
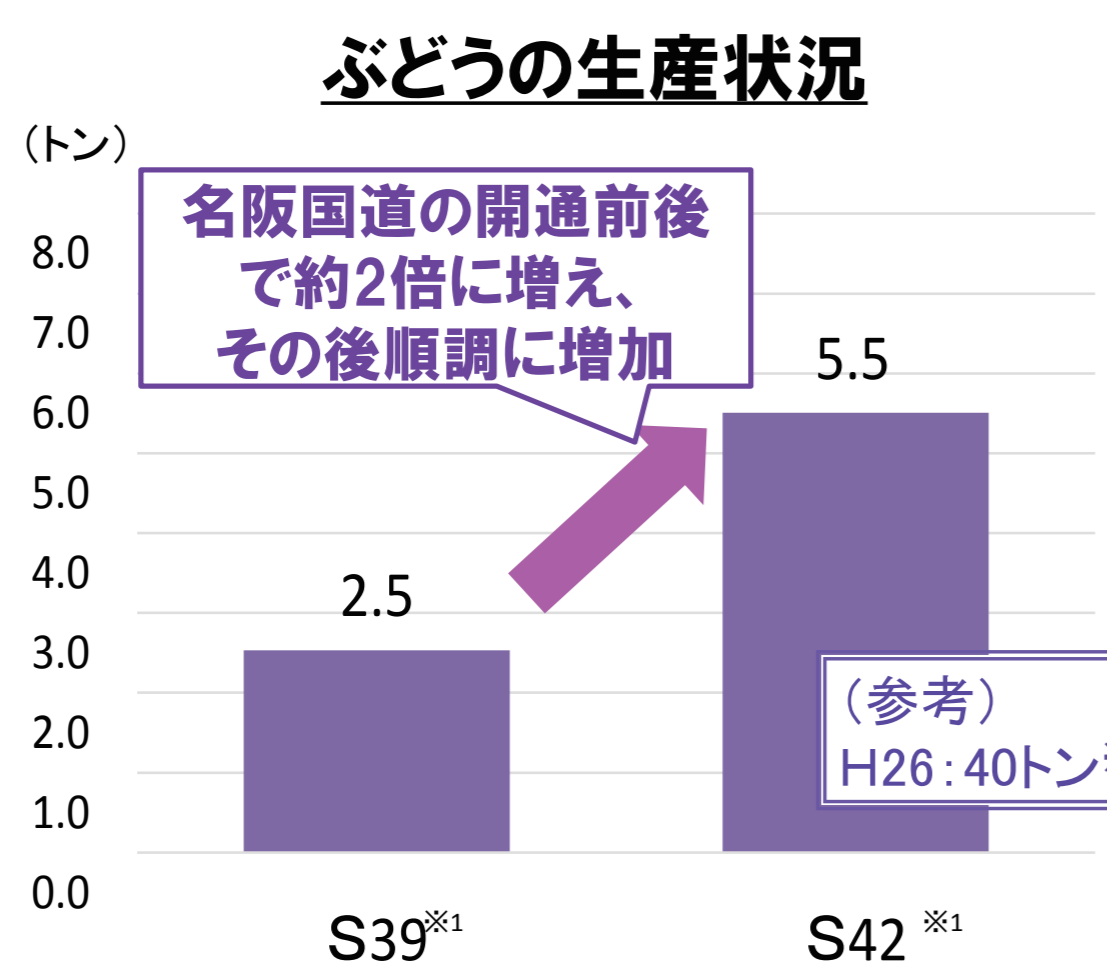
- ・名阪国道が当該地域を代表する農作物である伊賀米・伊賀牛の出荷を支えている。
- ・伊賀米・伊賀牛だけでなく名阪国道開通により園芸蔬菜（野菜等）の流通も大きく成長。

### 伊賀市の農業産出額の内訳



※出典：農林水産省 生産農業所得統計（H17）

### 《名阪国道開通前後の旧伊賀町の果実の生産状況の一例》

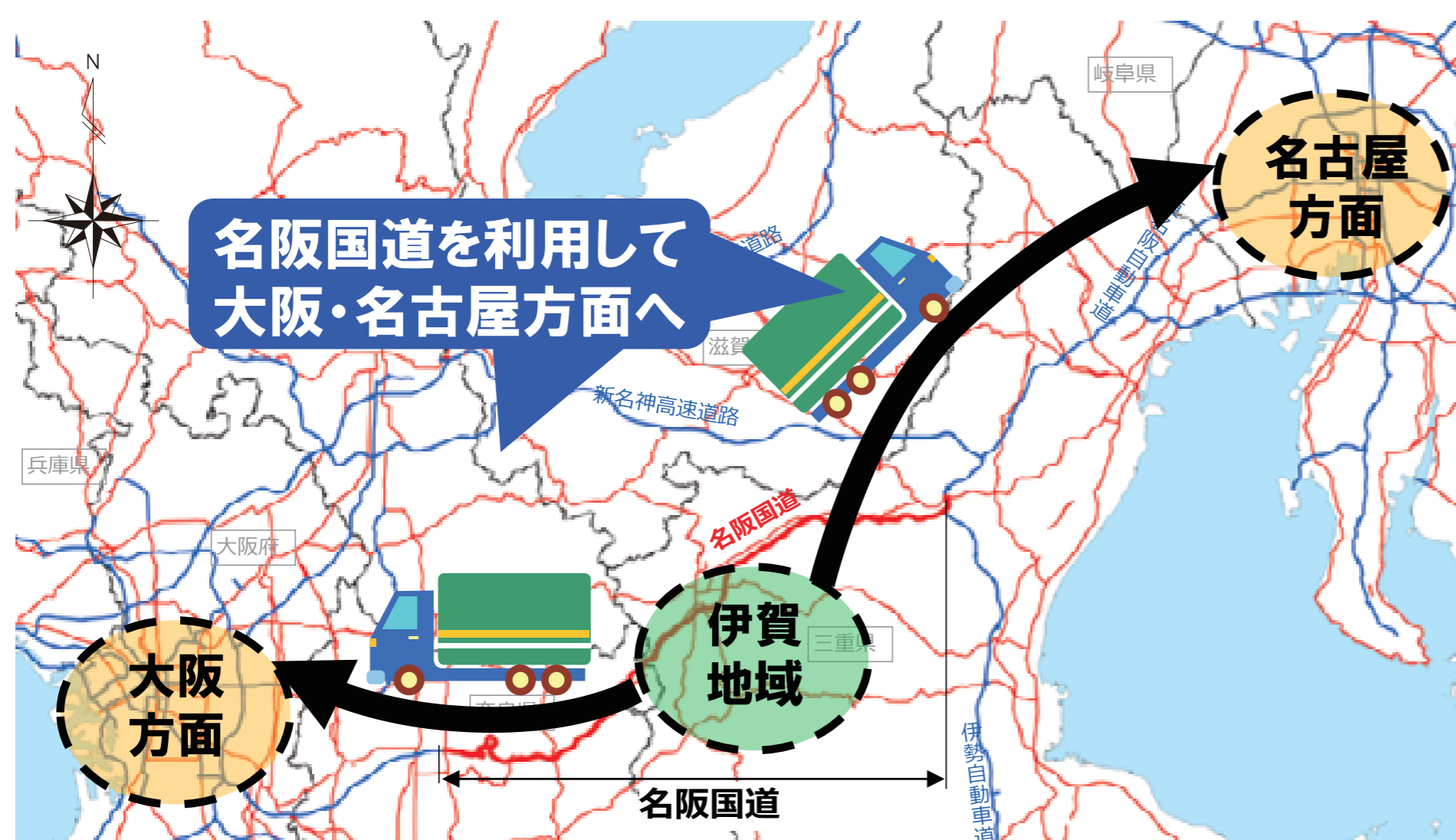


※1 S39とS42の生産量：  
「地域農業開発と道路投資」  
-S44年3月（財）農政調査委員会-（旧伊賀町の生産量）

※2 H26の生産量：  
JA伊賀北部より  
（旧青山町を除く伊賀市の生産量であり、JAを通さない出荷量は含まれてない）

## 名阪国道の速達性、走行性が伊賀地域農業の競争力を強化

### 名阪国道を利用した名古屋方面・大阪方面への輸送



- ・名阪国道を経由することで、鮮度を保って大阪方面や名古屋方面へ輸送可能になった。
- ・肉牛出荷量の増加は、名阪国道の開通によって、名古屋までの輸送時間が、従来の3時間から2時間に短縮されたことに起因している。
- ・路面の悪い道路で輸送すると、肉牛が骨折するなどの事故が発生していたが、名阪国道を利用することで肉牛の荷痛みがなくなった。

※「地域農業開発と道路投資」-S44年3月（財）農政調査委員会-から抜粋